

3年次で「社会問題ミーティング」を実施しました。

◆今号の記事は、吉村先生（SSH主任・理科担当）が書いてくれました。

7月3日（月）午後、本校において3年次生を対象に「SSHつくば市との社会問題ミーティング」を開催しました。3年次の「ミニ課題探究Ⅲ」では「地域の社会問題」をテーマに4人1組のグループ研究を行うため、つくば市の諸問題に対する講演を聴き、テーマ設定能力を育成することを目的に開催しました。

講 師	講 演 内 容
つくば市都市計画部 総合交通政策課より2名	●つくバス、つくタクの利用・収支状況 ●つくバスの路線、停留所、便数の現状と課題 ●つくば市の交通弱者（特に高齢者）の対策
つくば市こども部こども政策課1名 つくば市こども部幼児保育課1名	●つくば市の保育園の待機児童対策 ●保育士の確保（待遇改善）について ●保育コンシェルジュの取組について

後半は3人1組のグループワークで「つくば市の交通問題」「子育て支援問題」の対策・提案を考えました。質疑応答では積極的に手が挙がり、疑問や提案を発表し、つくば市の方から返答や意見をいただきました。以下に生徒からあがった提案を紹介します。

課 題	生徒からの提案（抜粋）
つくば市の交通問題	●つくば市でタクシーを買う。●自転車の貸し出しスポットを増やして、自転車の利用者を増やす（つくチャリ）。●つくバス、つくタクを買い物施設と連携する。●つくタクを水素カーにして、イメージアップする。●つくテツをつくる（りんりんロードあたりに路面電車）。●つくバスツアーなどをして魅力を発信する。●つくバスを何回か利用すると特典を出す。●ベビーカーを持っている人にやさしいバスにする。
つくば市の子育て支援問題	●母親を保育園で働けるようにする制度をつくる。●つくば市に「こども育成現場課」をつくり、現職の保育士を講師にして、保育士を育成する。●保育のできるロボットを活用し、人材不足をカバーする。●イオンモールみたいな保育園モールをつくり、こども用品のお店や保育施設を一体とした施設をつくり、子育て支援のまちをアピールし、保育士に注目してもらい人材を集める。●公園を利用し青空保育をする。

